

【2017年度 シラバス】

時間割コード		開講区分	春・夏学期
ナンバリングコード※	3B11210	曜日・時間	(集中)
開講科目名	地域情報活用法	単位数	2
担当教員	森栗 茂一、辻 寛、板倉 信一郎	年次	全研究科、学部3年以上の全学生、社会人(若干名))
講義題目	地域情報活用法：まち・みちづくりのためのデータ検索・分析・プレゼンテーション		
開講言語	日本語		
授業の目的	<p>本講義では、以下の(1)～(5)の修得を目的とする。</p> <p>(1) 行政機関が公開しているまち・みちづくりに関する各種データの検索方法</p> <p>(2) 統計データやグラフ、表の読み取り方(リテラシー)</p> <p>(3) 課題の原因分析や解決法を探るためのデータ分析の基礎的な手法</p> <p>(4) 分析結果や解決策を、市民に分かりやすく説明するためのデータ表現</p> <p>(5) 市民との対話の中で分かりやすく説明あるいは質問に答えるスキル</p>		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関が公開している情報の検索、データ処理ができる ・統計・グラフ・図表(地図)等の限界と可能性を推量できる ・統計・グラフ・図表(地図)等を用いて、一般市民に分かりやすく説明し、質問に対応できる 		
履修条件・受講条件※	<ul style="list-style-type: none"> ・まち・みちづくりや、データ分析に関心のある学生(基本的には大学院生レベルを対象とする) 		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・受講にあたり、個人情報も含め、特別な配慮を要する学生はガイダンス後に申し出ること。 ・ディスカッションと演習を中心に講義を進めるので、受講者の積極的な参加を期待する。 ・インターネットや表計算ソフトを用いるので、wi-fi 接続機能を持つノートパソコンを持参すること。 ・データ分析やグラフ・図表等の作成に際して受講生間で、スキルに差があると思われるので、講義室(wi-fi 環境あり)を講義後一定時間開放し、自学自習に充てることのできるよう配慮する。 ・本講義は、建設コンサルタント協会近畿支部の全面的なご協力の下に行われる。 		

授業計画	第1回：4/10 6限 オリエンテーション 4/14 (吹田) 6限 オリエンテーション
	第2回：6/17 3限 モデレーションとその重要性について (CSCD 辻助教)
	第3回：6/17 4限 データ検索1
	第4回：6/17 5限 データ検索2
	第5回：6/18 2限 データや図表の読み取り方について
	第6回：6/18 3限 データ分析の基礎1
	第7回：6/18 4限 データ分析の基礎2
	第8回：6/18 5限 前半の振り返り (質問・討議・補講)
	第9回：7/1 3限 データの加工と表現1
	第10回：7/1 4限 データの加工と表現2
	第11回：7/1 5限 説明の仕方 課題の設定 (簡単なデータ検索、分析、解決策考案とそのプレゼン)
	第12回：7/2 2限 課題演習1
	第13回：7/2 3限 課題演習2
	第14回：7/2 4限 課題プレゼンテーション
	第15回：7/2 5限 振り返り (質問・討議)、さらなる発展にむけて
授業外に おける学習	・データへのアクセス、処理、加工について自ら復習することが望ましい
教科書・参考資料 ※	・講義において資料を配布する
参考文献 ※	・必要に応じガイダンス時、授業中に指示する
成績評価	・講義への参加 50%、ディスカッション時の発言やプレゼンテーション等 50%
キーワード ※	まちづくり・地域づくり、e-Stat、パーソントリップ調査、ビッグデータ、GIS